

令和元年度 第1回 独立行政法人地域医療機能推進機構仙台南病院地域協議会議事録

日 時：令和元年8月29日(木) 19時00分～20時00分

場 所：病院3階 第二・第三会議室

出席者: 小野 幸治 (仙台市太白区保健福祉センター 所長)
宇田 孝康 (名取市健康福祉部介護長寿課 課長)
芳賀 和明 (名取市健康福祉部保健センター 所長)
今村 幹雄 (仙台市太白区医師会 代表幹事)
丹野 尚昭 (名取市医師会 会長)
三浦 勇 (下前田東町内会 会長)
秋山 征吾 (下前田前沖町内会 会長)

朝倉院長・秋野副院長・遠藤副院長・藤原事務部長・鈴木看護部長・開沼副看護部長・
奥山附属介護老人保健施設看護師長・高橋総務企画課長・高谷総務企画課員(事務局・書記)

議事内容(高橋総務企画課長進行)

・仙台南病院協議会次第にそって

1. 開会

2. 院長挨拶

外部委員の皆様には、ご多忙のところ、また、遅い時間にもかかわらず仙台南病院地域協議会にお越し頂き、大変ありがとうございます。

地域協議会の開催の一番の目的は、地域の方々の当院に対するご意見、ご要望を聞くということですので、皆様方から率直な意見を頂戴できれば幸いです。

本日は、よろしくお願ひ致します。

3. 委員の紹介

本日出席頂いた各委員について、外部委員、内部委員の順に紹介を行った。

4. 概況説明等

<概況>

(1) 施設・病棟運営状況等(藤原事務部長)

施設運営状況として、病床数・標榜診療科・患者数(病院・附属老健)・健診利用者数について病棟運営状況等として、病棟別1日平均入院患者数と稼働率・診療科別1日平均入院患者数・診療科別医師数・地域連携の状況(紹介患者数・紹介率・逆紹介率・登録医数・救急車受入状況)について、資料に沿って説明。

:下前田前沖町内会会長 秋山委員

町内会ではサロン活動というのをやっており、もとは社会福祉協議会ほうからの流れでやっております。この間の河北新報に認知症の件について記事がありまして、2025年に5人に1人が65歳以上ですけど認知症に何らかの関連があるという方向に向かっており、何らかの対応が必要ではないかというような記事がありましたけど、それを見ますます私たちがやっているサロン活動がいいのかなど再確認をしたのですが、個人で認知症の予防をするのはなかなか難しい面があります。仙台南病院も先日、袋原地域包括支援センターと一緒に体操を含めたサロン活動がされました。最近いろいろな催し物がある中で体操というか運動が、集まりは昔はお茶を飲んでおしゃべりをするというのがありましたけど、その中に運動を入れるというのはそれが非常に最近喜ばれるというかそういうことを入れることによって集まりが良くなります。病院からいろいろアドバイスをもらいながらやっていただければと思います。私たち単独の町内会でやっていますけど、単独の町内会で仙台南病院の方にお問い合わせするというケースもこれから出てくるのかなと思いますし、あるいは包括支援センターと組んで拡大した地域の中でやることもあると思いますので、その節はよろしくお祈いします。

:下前田東町内会会長 三浦委員

連合会は11町内会あるわけなんですけど、サロンの推進委員が秋山会長なんです。先日もうちの町内のサロン会に社会福祉協議会の方と一緒に来て頂いて、介護予防体操をやられて皆さん喜んでおられました。何のためのサロンかという、年配の方が流行の言葉で言うと引きこもりですか、何もすることが無くてただ家に居てテレビばかり見ている。そういうことをなくすためにサロンを町内会で作って一年に一回ですけど参加して頂いて、全員に来て頂くためには先ほどの出前講座ですか、その中の骨粗鬆症というのがありますので是非ともうちの方でもサロンでやって頂ければと思っております。サロンに参加している方がそれなりの年の方なので、こういうテーマですと興味もって聞いて頂くと思いますのでよろしくお祈いします。

:朝倉院長

地域住民との交流というのは大事で、直接の医療提供ではないのですが、実際に住民の方と接する機会をもって地域に貢献するというのも使命だと思っておりますので、今後ともよろしくお祈いします。

:名取市医師会会長 丹野委員

感謝しております。いつも言っていますけど仙台南病院地域医療連携室ピカイチだと思っております。その理由はたぶん院長先生がある程度まかせると言っているのと、比較的小さな所帯、大きいとなかなか難しいと思うんですけど。昨日うちの患者さんで蕁麻疹が原因でショックになった人がいたんですけど、そうそうたる病院で断られて4箇所目でやっと受け入れられました。断られる理由は良くわかるんですけど腹も立たないしそうだろうと思うんですけど、こちらとしてはショック状態で血圧が70、80になって内心穏やかではないですね。言うことわかるんですね、蕁麻疹持っていると皮膚科のある総合病院がいいでしょうって考え方で、そういうところに電話しても今ちょっと取り込んでいていうんですね。事情は良くわかってるんですけど。そういう意味では仙台南の連携室は一回切りますよってことで中でやってくれるんです。病院の場合だと大体連携室にかけて、その担当のナース、医者がいないとナース、ナースと話が通じないと先生探しますお待ちくださいと、なかなか待ってる気持ちは辛い部分があるんですけど。仙台南は17人の医者でよくがんばっているなと思います。仙台市内も日中の救急は結構受けている。昨日のは例外でしょうけども、土日ほどこも少ないんで難しいんです。救急の数が増えれば入院患者の数が増えると思いました。

:仙台市太白区医師会代表幹事 今村委員

が多いので昔の地区担当制を知っている経験をした保健師さんというのは大体係長以上じゃないといないんですね。そうすると若い保健師さんたちは何をどうやっていいかわからないということで、試行錯誤しながら、とにかく地域に行って地域の話をよく話を聞いてきなさいと、それをみんなで共有しながらどういったことが出来るかっていうところを今、喧々諤々いろんなことをやっています。そんな中でこちらは老健施設ももっていますので、いろんな地域包括支援センターと連携しながら地域の中でのネットワークを使って対応していければと思っていますのでよろしくお願いします。一点だけ先ほど小児科と産婦人科を休診していると伺ったんですけど、太白区の場合、特定妊婦さんですとか病気の児童さんの数が他の区に比べて多いので、そういう観点からいくとこれを再開して頂くと大変ありがたいんですけどいかがでしょうか。

:朝倉院長

当院も医師不足に大変頭を悩ませていまして、小児科はずっと不在で、産婦人科も何年も不在でやはりこれは大学の人事派遣の条件が昔と変わって、一人では出さないということになっていて複数の医師を受け入れるくらいのキャパシティーがないと難しい状況です。ニーズに応えなければいけないところですが、フリーで来るようなドクターがいれば受け入れたいと思いますが、なかなか大学からの医師派遣は厳しいところなんです。

6. 閉会の挨拶 秋野副院長

本日は遅くまでご出席を頂きありがとうございました。

また、大変貴重なご意見を賜りありがとうございました。ご意見を明日からの業務に活かしていきたいと思えます。本日は、大変ありがとうございました。